

3月13日 ゲスト卓話



第 2770 地区

川口ロータリークラブ

岡村 睦美 様

私は川口市本町4丁目にエスパス・ミュウ・ギャラリーを創設して18年、川口そごう5Fに移転し、社名を「埼玉画廊」と改名して4年となります。

3月11日東日本東北大震災の計画停電の時、毎日のようにある老夫婦が絵をみにいらしていた姿を見て、改めて絵が人間の内面に訴えるもの、心に訴えるものであることを思い知らされました。人間の内性を表現できる唯一のものが芸術だと思っております。

又、気に入った絵を病床で毎日見続けていた方の話などを聞き、人の心や内面を癒すものが、唯一芸術しかないのだということを強く思っております。

人の心をとらえるのは、それは人間の手によって描かれたものであり、人間の手技によってつくられた作品は絵画であれ、音楽であれ、人の心と心、魂の触れ合いをまずコミュニケーション、記憶を呼び起こすものなのです。

そのものに価格をつけるということ自体、実はナンセンスな事と言えますし、又、作家の手を離れた作品は1人歩きして、商品になっていきます。絵こそ値段があってないものです。

ですから、信頼のできる画廊や画商さんからよく話を聞き、お買い求めになるのが一番としか言いようがありません。

又、投資の対象にもなりえますので、専門家の話をよく聞き、お買い求めになるのが良いと思われれます。